

## りとにゆーす

No.56 2007.11.1

## ● Contents ●

- ☆本の素晴らしさ ..... p.1
- ☆今、理大では何が読まれているか。..... p.2~3
- ☆理大の近くの“まちの図書館” ..... p.4~5
- ☆図書館見学・業務体験 ..... p.6  
(岡山理科大学附属中学校)
- ☆理大図書館を授業の一環として利用 ..... p.6  
(岡山理科大学専門学校)
- ☆岡山理科大学教員執筆図書のご紹介 ..... p.7
- ☆お知らせ ..... p.8

編集・発行 岡山理科大学図書館  
〒700-0005 岡山市理大町1-1  
<http://www.lib.ous.ac.jp>



図書館のQRコードが  
できました。

## 本の素晴らしさ

理学部長／大谷 槻男

文字は人類が生み出した最大の発明の一つと言ってよい。文字は時空を超えて飛び交う。石やパピルスに書かれたヒエログリフを読めば、四千年以上も昔のエジプト人の生活をうかがい知ることができ、万葉集を読めば、はるか奈良時代の生活をしのぶことができる。文字が書かれた書物は情報や知識をほぼ完全に伝えてくれる。幕末の宇和島藩で、一人の傘職人がオランダの技術書のみをたよりに鉄の蒸気船を作ることになったという話を読んだことがある。その職人の卓越した技能もさることながら、書物からだけで蒸気船を作ることができたという事実は、書物による知識伝達力の完璧さをよく物語っている。

過去から現在までの科学論文を集めた、おびただしい冊数の雑誌が図書館にある。それらは人類がこれまでに獲得してきた知識や知恵の宝庫である。例えば、1905年のアナレン・デア・フィジークという雑誌を開いてみると、アインシュタインの特殊相対性理論の原論文に出会うことができる。科学史上の最高の思想の一つが目の前にある。書物は架空の世界も作り出す。古今東西の小説などを読むと、この現実世界をひととき忘れてしまうほどである。しかも本はずいぶん安い。日曜日に部屋にこもって好きな文庫本を読むとしよう。わずか数百円で、まるまる一日を楽しく過ごすことができる。さらにありがたいことには、公共の図書館では本を借りるのにお金はいらない。

かつて戦場にあった兵士達は活字に飢えて、たとえ紙切れのような印刷物であってもそれらを奪い合うようにして読んだという。いつでも書物に出会える現在は、たいへん幸福な時代であると言わざるをえない。改めて本の素晴らしさをかみしめたいと思う。

注. Annalen der Physikの論文は、図書館所蔵の“The collected papers of Albert Einstein”に掲載されています。文庫本は、10号館図書館と21号館図書館にも所蔵しています。ぜひ、ご利用ください。